

# 電話交換設備更新仕様書

令和 7 年 12 月

伊豆赤十字病院

## I. 一般事項

### 1. 概要

- (1) 本仕様書は伊豆赤十字病院および伊豆赤十字介護医療院、看護小規模多機能型居宅介護事業所レクロス小立野、訪問看護ステーション伊豆日赤（以下「付帯施設」という。）において使用する電話交換設備について定めたものである。
- (2) 本仕様書に記載なき事項は、「公共建築工事標準仕様書」に基づいた製品を納入、施工するものとする。

### 2. 設置（施工）概要

#### (1) 設置場所

- 電話交換機（PBX）

伊豆赤十字病院（静岡県伊豆市小立野 100）

- 電話機等の設備

- ① 伊豆赤十字病院
- ② 伊豆赤十字介護医療院（静岡県伊豆市小立野 100-2）
- ③ 看護小規模多機能型居宅介護事業所レクロス小立野（同上）
- ④ 訪問看護ステーション伊豆日赤（同上）

#### (2) 範囲

- ① ビジネスホン
- ② ビジネスホン～MDF ケーブル敷設
- ③ ビジネスホンのデータ投入設定作業
- ④ 試験調整・ビジネスホンから切替作業
- ⑤ ビジネスホンの撤去

#### (3) 機器据付調整

- ① ビズネスホンの機器据付調整
- ② ビジネスホンの局データ作成及び投入
- ③ 各種端末取付作業
- ④ ビジネスホンと各種電話機までの配線工事
- ⑤ 動作確認及び調整作業（開通立会い含む）
- ⑥ 材料費
- ⑦ その他の工事が必要となった場合は担当者と別途協議すること

#### (4) 電話交換機の切替え

- 現在は、病院および付帯施設の2施設で電話交換機を有しているが、本更新工事において1台に統合することから、各施設で切替え作業が発生する。切替え作業については事務局（伊豆赤十字病院 会計課）を窓口として、受注者と事務局、各施設の担当者とで協議の上、日程を調整すること。

- 交換機の切替え作業については病院および介護施設（入所施設）の特性上、可能な限り短時間での実施とすること。また、救急対応などを行っていることから、最低1回線は外部からの連絡手段を確保すること。

#### (5) その他

- 構内配線は原則既存流用とし、施工期間中に断線・劣化などの使用に影響を及ぼす不具合を発見した場合は、事務局と相談の上、別途工事など適切な方法で対応する。
- 電話交換機については耐震性能を有すること。
- 停電時、商用電源から非常用電源への切替わるまでの間（1分以内）を補助するため、ONUに無停電電源装置(UPS)を取付けること。
- 更新される既存の電話交換機および電話機などの付属設備は受注者にて撤去すること。また、撤去した機器については、事務局が指定した回収場所（コンテナなど）に廃棄すること。
- 本工事にあたり、電話交換機に収容予定の電話回線については、契約先を現在の2社（ソフトバンク・NTT）から1社（NTT）へと契約変更する予定であること。
- 診療およびその他の業務に影響する箇所へ施工する場合は、当院との協議の上、夜間・土日祝日等の作業も考慮すること。

### 3. 納期

令和8年3月31日（火）

※上記を希望とするが、不測の事態により（情勢の影響による納期の変動など）希望日以降での納品となる場合は、その事実が確認された時点で事務局に報告の上、別途、相談とする。

### 4. 検収

上記設置場所、据付調整とする。

### 5. 取扱説明

作業完了後は機器の取扱説明を行うこと。

### 6. 検収後提出書類

完成図書として、下記の書類を提出すること。

- 機器仕様書（紙・データ） 紙 2部・データ 1式
- 外観図（紙・データ） 紙 2部・データ 1式
- 取扱説明書（紙・データ） 紙 2部・データ 1式

### 7. 遵守事項

機器据付調整にあたっては、電気通信事業法（昭和59年法律86号）等の諸規定並びに電気設備に関する技術基準を定める省令（昭和40年通商産業省令第61号）等の関係諸規定を遵守すること。

### 8. 保証期間

本工事完成後、6年間に明らかに、設計、製作あるいは工事の不完全、納入品の欠陥不良等に起因する故障が発生したときは、施設の受注者は無償にて修理または、良品と交換するものとすること。

また、保証期間（6年間）を過ぎた後においても受注者の責任によるものと明らかに認められるものについては、双方協議のうえ、無償修理などを負わせることが出来ること。

重度な障害発生に備え、静岡県東部・伊豆地域周辺に営業所やサービス拠点を有する、または概ね2時間以内に到着可能な体制を有すること。（ただし、休日・夜間および災害時を除く）

## 9. 保守

伊豆赤十字病院と受注会社との間で6年間の保守契約を締結するものとし、その費用を含んだ金額で入札をすること。

## II. 設備仕様

### 1. ビジネスホン主装置使用

#### (1) 交換方式

- |          |  |
|----------|--|
| ① 制御方式   | 蓄積プログラム制御方式  |
| ② 通話路方式  | TD/PCM 方式・T1 段   |
| ③ 局線対応方式 | ボタン電話応答方式、分散応答方式、ダイヤルイン方式、<br>ダイヤルインダイヤル方式、ダイレクトインダイヤル方式、<br>ISDN 着信サブアドレス方式<br>(以上の組み合わせが可能のこと) |

#### (2) 処理能力

- |          |                                      |
|----------|--------------------------------------|
| ① 制御部    | 汎用性が高く実績のある CPU を搭載していること。           |
| ② 記憶装置部分 | ROM, USB メモリー等 (FD, HDD 等回転系記録装置は不可) |
| ③ 入力装置   | 多機能電話、パーソナルコンピューター等                  |
| ④ 処理能力   | 8.0HCS (1多機能電話機あたりの処理呼量)             |
| ⑤ 冷却方式   | 自然空冷方式                               |

#### (3) 電源装置（ビジネスホン主装置内臓）

- |        |                      |
|--------|----------------------|
| ① 入力電圧 | AC100V±10V (50/60Hz) |
| ② 出力電圧 | -24V±10%             |
| ③ 蓄電池  | 10 分間～30 分間保持        |

#### (4) 使用環境 温度 0°C～40°C 相対湿度 20%～85% (結露なきこと)

#### (5) その他

- |   |
|---|
| ① 増設時は、ユニットを増設していくビルディングブロック方式とする。              |
| ② ビジネスホン主装置のバージョンアップは、全て現地にてソフトインストール等で対応可能のこと。 |

2. ビジネスホン主装置収容回線

収容回線	現用	実装	容量 (増設対応)	備考
局線回路				
【病院用】				
アナログ局線	5 回線	1 回線	—	災害時優先
ひかり電話	—	5 c h	5 c h	
【付帯施設用】				
アナログ局線	2 回線	1 回線	—	災害時優先
ISDN64 局線	4 回線	—	—	
ひかり電話	—	5 c h	5 c h	
内線回路				
【病院用】				
一般内線	80 回線	44 回線	1 回線	OT 室増設
多機能内線	16 回線	16 回線		
PHS アンテナ	11 台	14 台	3 台	1~3 階 各 1 台増設
PHS 内線	53 回線	40 回線		
PHS 内線 (ナースコール連動)	24 回線	31 回線	7 回線	
【付帯施設用】				
一般内線	36 回線	22 回線	1 回線	リハビリ室増設
多機能内線	14 回線	11 回線	1 回線	レクロス増設
PHS アンテナ	9 台	10 台	1 台	レクロス増設
PHS 内線	4 回線	7 回線	3 回線	
PHS 内線 (ナースコール連動)	8 回線	8 回線		

### 3. ビジネスホンサービス機能一覧

システム短縮ダイヤル	可変短縮ダイヤル	リトライ
スーパー・リトライ	外線お待たせメッセージ	通話録音機能※1
着信中の複数番号表示機能	システム発信履歴（8000件以上）	システム着信履歴（10000件以上）
システム電話帳（最大10000件）	迷惑電話着信拒否（10000件以上）	特定番号発信規制（10000件）
多機能電話機漢字表示	会議通話（最大32者）	節電モード
転送電話※2	戻って録音	

※1 通話録音機能は、別途増設により最大通話録音時間500時間まで対応できる機種とする。

※2 転送毎に転送先をサイクリック（ラウンドロビン）に切替ができる機種とする。

### 4. 電話機仕様

#### (1) 多機能電話機（標準）

- ディスプレイ、可変機能ボタン、ワンタッチボタン12個以上を有すること。
- 着信時、内線番号を表示可能のこと。
- すべてのファンクションボタンに対し保守コンソール等により任意にキー設定が可能であること。
- 漢字・ひらがな表示が可能であること。
- 着信履歴・発着信履歴を確認可能のこと。また、各履歴からワンタッチ発信が可能のこと。
- ハンドセットはアルコール消毒に対応した素材であること。
- ナンバーディスプレイに対応していること。

#### (2) 多機能電話機（標準・停電対応）

- ディスプレイ、可変機能ボタン、ワンタッチボタン12個以上を有すること。
- 着信時、内線番号を表示可能のこと。
- すべてのファンクションボタンに対し保守コンソール等により任意にキー設定が可能であること。
- 漢字・ひらがな表示が可能であること。
- 着信履歴・発着信履歴を確認可能のこと。また、各履歴からワンタッチ発信が可能のこと。
- ハンドセットはアルコール消毒に対応した素材であること。
- ナンバーディスプレイに対応していること。
- 停電時に使用できること。

#### (3) 多機能電話機（デジタルハンドルコードレス）

- ディスプレイ、可変機能ボタン、ワンタッチボタン12個以上を有すること。
- 着信時、内線番号を表示可能のこと。
- すべてのファンクションボタンに対し保守コンソール等により任意にキー設定が可能であること。

こと。

- 漢字・ひらがな表示が可能であること。
- 着信履歴・発着信履歴を確認可能のこと。また、各履歴からワンタッチ発信が可能なこと。
- ナンバーディスプレイに対応していること。
- 親機から子機までの最大伝達距離が約 100m 以上（最良条件）の性能があること。

(4) 単独電話機（卓上・壁掛）

- フッキングボタンを有すること。
- 壁掛けに対応できること。

(5) 単独電話機【スリムタイプ】（卓上・壁掛・スタンド等）

- フッキングボタンもしくは相当する機能を設定可能な機種をラインアップに有すること。
- 壁掛け、スタンド置きに対応できること。
- 概ね受話器分のサイズで収まること。

(6) PHS

- ナースコール（ケアコム製・アイホン製）と連動できること。
- 防水機能を有するモデルがあること。
- 半角カナで計 48 文字の表示が可能であること。

## 5. 機器数量

- |                               |   |
|-------------------------------|---|
| ● ビジネスホン（10 分間対応バッテリ内蔵）       | 1 式   |
| ● 多機能電話機（標準・停電対応）             | 卓上式 3 台   |
| ● 多機能電話機（標準）                  | 卓上式 18 台  |
| ● 多機能電話機（ハンドルコードレス電話機）        | 卓上式 5 台<br>壁掛式 1 台  |
| ● 単独電話機                       | 卓上式 30 台（※ <sub>2</sub> 予備機 2 台含む）<br>壁掛式 42 台（※ <sub>2</sub> 予備機 2 台含む）<br>スタンド式 1 台 |
| ● 単独電話機（スリムタイプ）※ <sub>1</sub> | 壁掛式 5 台（※ <sub>2</sub> 予備機 2 台含む）   |
| ● PHS                         | 標準 53 台（※ <sub>2</sub> 予備機 10 台含む）<br>防水 53 台（※ <sub>2</sub> 予備機 10 台含む）              |
| ● PHS 用充電器一式                  | 106 台   |

※<sub>1</sub> 2 台（壁掛・スタンド各 1）については、直通電話（特定の内線番号に自動発信）として使用予定であることから、ダイヤルボタンのない機種を含んでもよい。

※<sub>2</sub> 予備機とは故障などの際に使用する代替機・交換機を想定しているが、PHS については増設の可能性も見込んだ台数である。

### III. ビジネスホンのシステム構成

